

第2期東御市スポーツ推進計画 前期アクションプラン(素案)

令和7（2025）年度～令和8（2026）年度

令和 年 月
東御市

目 次

I はじめに

- 1 東御市スポーツ推進計画の策定 1
- 2 推進計画の位置付け 4
- 3 推進計画の期間 4
- 4 推進計画の進捗管理 4

II 前期アクションプランの策定について

- 1 前期アクションプラン策定の趣旨 5
- 2 前期アクションプランの期間 5
- 3 前期アクションプランの推進方法 5
- 4 前期アクションプランの概要 5
- 5 前期アクションプランの進捗管理 6
- 6 S D G s の達成に向けた位置づけ 6

III 第1期スポーツ推進計画の検証

- 1 アクションプランにおける戦略（柱）の評価と方向性 7
- 2 アクションプランにおける各取組み事業の評価と方向性 9
- 3 取組み（事業）の展開 10

IV 実施主体による具体的取組み（事業）

- 1 取組み（事業）の構成 12
- 2 取組み（事業）の内容（個票） 13

V 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート 32

I はじめに

1 第2期東御市スポーツ推進計画の策定

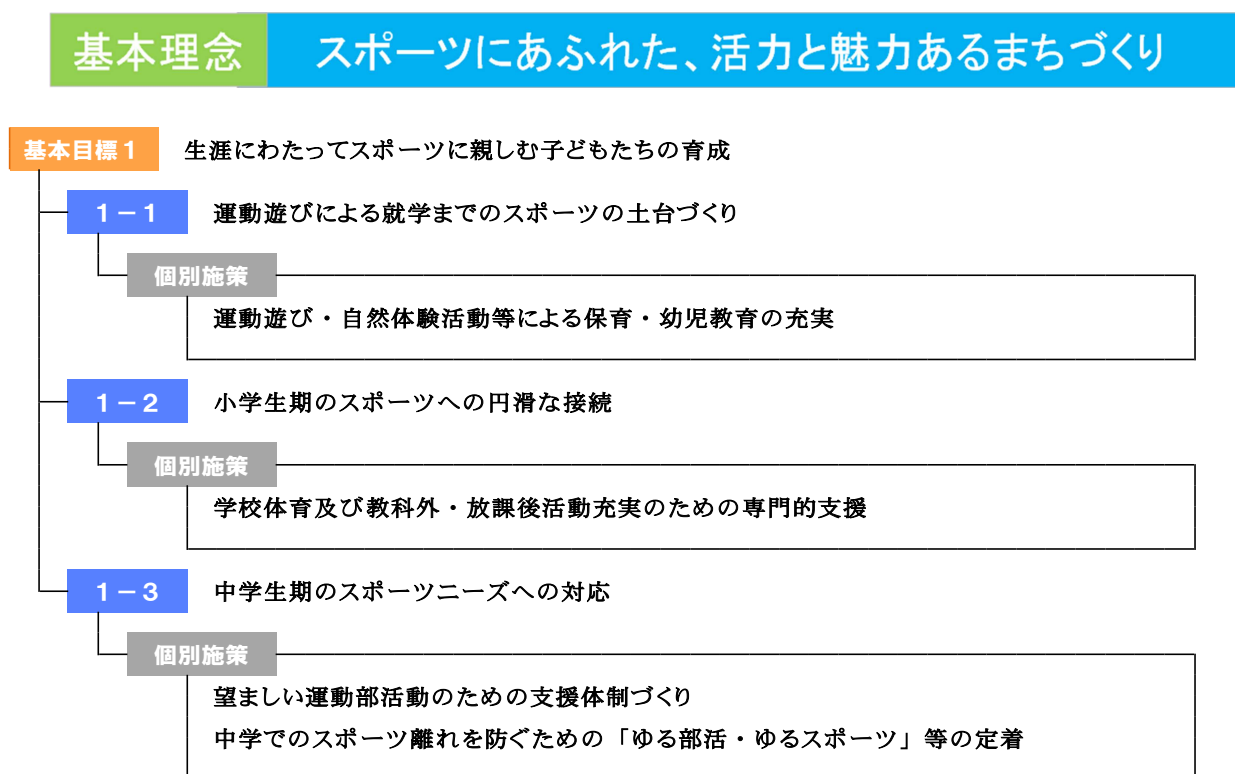
スポーツ基本法に基づく国の「スポーツ基本計画」や「長野県スポーツ推進計画」との整合を図るとともに、本市の特徴を活かしつつ、スポーツが持つ限りない力で地域の活性化を図るためのスポーツ振興施策として、令和5年度に第2期東御市スポーツ推進計画（以下「推進計画」という。）を策定しました。

この推進計画では、「スポーツにあふれた、活力と魅力あるまちづくり」と基本理念とし、「日常にスポーツがあり、人間関係と地域経済が豊かな、健康で笑顔輝くまち・とうみ」を目指す姿として、「スポーツの裾野を広げる」、「スポーツで外から誘う」、「スポーツの高みを目指す」という3つの視点から4つの基本目標を掲げ、11の施策方針ごとに個別施策を展開し目標の実現を図るものとしています。

なお、前回の推進計画（以下「前推進計画」という。）は、国の示すスポーツ基本計画に沿った形として多様な施策を策定しておりましたが、幼少期の運動遊びや自然体験活動、ボッチャをはじめとするユニバーサルスポーツ活動やスポーツツーリズムの推進など、特色を活かした東御市らしい施策に絞ることで市の基本理念や目指す姿へ向けた取り組みを重点的に実施してまいります。また、計画の策定にあたって、前推進計画において一定の成果が得られ、今後も定例的に継続していくものや、他の個別施策との統合を必要とするものについては削除及び集約いたしました。

今後は競技性の高いスポーツに留まらず、誰もが気軽に身体を動かせる機会の創出や、更にスポーツを身近に感じ、楽しむことができる環境づくりに取り組む計画としております。

図表 推進計画の体系



基本目標 2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

2-1 青壮年期のスポーツ活動の促進

個別施策

働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進
積極的な情報発信

2-2 スポーツ施設（ハード）の活用

個別施策

いつでも、どこでも、だれでも楽しめる場の提供

2-3 地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実

個別施策

スポーツ推進委員活動の強化
スポーツ協会活動充実への支援
総合型地域スポーツクラブの支援

2-4 スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり

個別施策

身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実
障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツを活用した交流事業

基本目標 3 スポーツによる地域経済の活性化

3-1 スポーツツーリズムの推進

個別施策

地域スポーツコミッションの支援
湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入

3-2 スポーツを活かした地域の活性化

個別施策

産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積
専門機関等とのサポート連携協定の推進

基本目標 4 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

4-1 スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続

個別施策

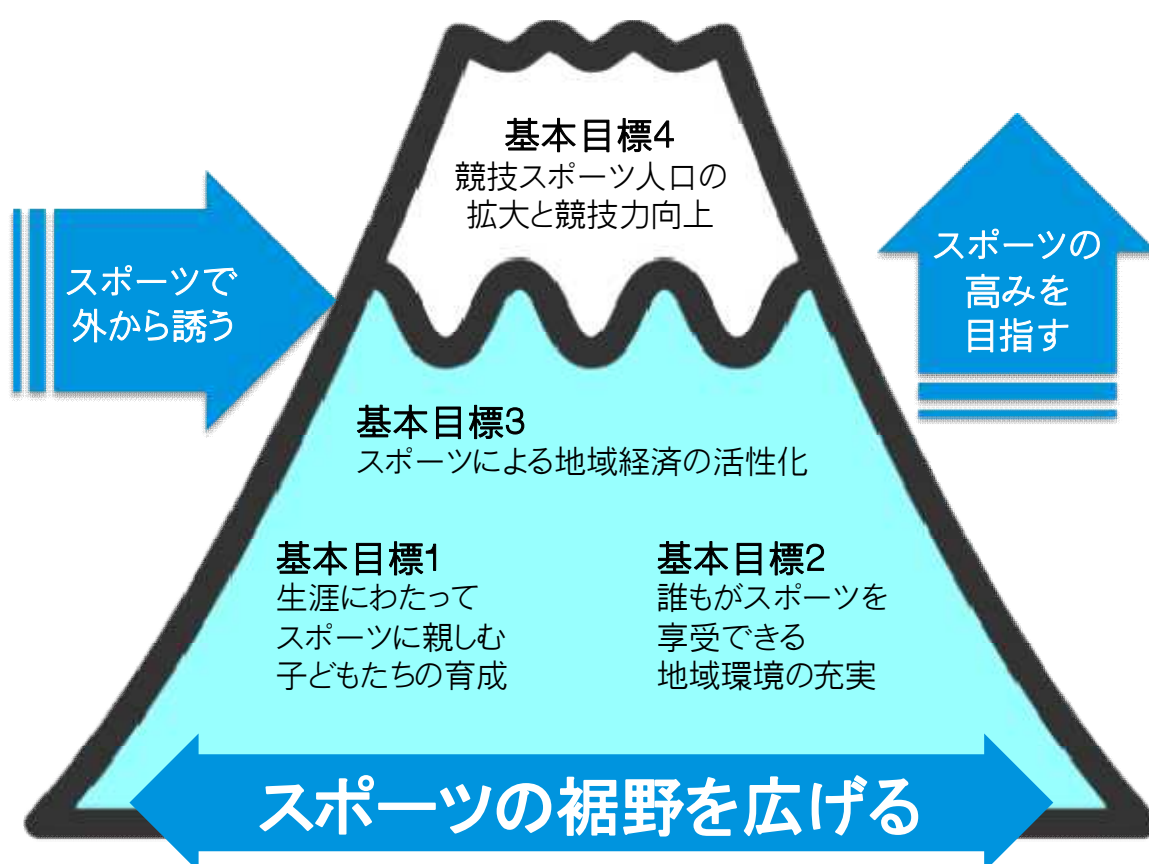
トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供

4-2 高みを目指す人々への支援

個別施策

競技レベルに応じた練習環境の充実

図表 スポーツ推進計画策定における3つの視点と基本目標の位置づけ



基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

子どもたちが生涯を通じてスポーツに親しむきっかけとなるよう、外遊びや、学校体育、スポーツ活動への支援を行いスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

さまざまなライフステージに応じたスポーツ活動ができるよう、スポーツ機会の創出、活動の支援、それらを支える人づくりによって生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化

恵まれたスポーツ環境等を積極的に活用し、交流人口の増加を図るとともに地域経済の活性化を図ります。

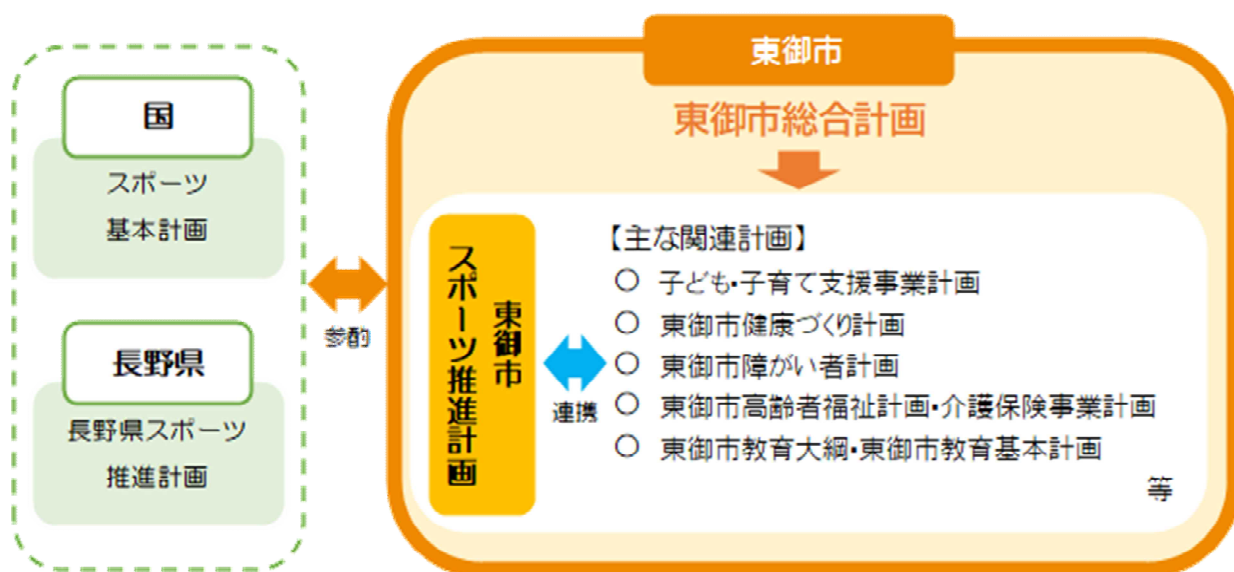
基本目標4 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

より高みを目指す人々を支え、導く体制等を整えるとともにアスリートとの交流機会の創出を図ります。

2 推進計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条の『地方スポーツ推進計画』と位置づけ、国の『スポーツ基本計画』や長野県の『スポーツ推進計画』を尊重しつつ、『東御市総合計画』を上位計画とし、『子ども・子育て支援事業計画』『東御市健康づくり計画』『東御市障がい者計画』等との連携を図り、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示すものです。本市が目指すスポーツ施策の方向性について、庁内の関連部署と一体となった検討をする等連携を密にし、市民や関係団体等が共通認識を持ち、本計画の基本理念の実現に向け、総合的かつ計画的に取り組んでまいります。

図表 推進計画の位置づけ



3 推進計画の期間

推進計画は、10年後の「目指す姿」を見据えた後半5年間の計画とし、本計画の期間を令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間としています。

4 推進計画の進捗管理

推進計画の円滑な推進を図るため、その進捗管理については、施策の実施状況や目標の達成状況を定期的に把握する必要があります。

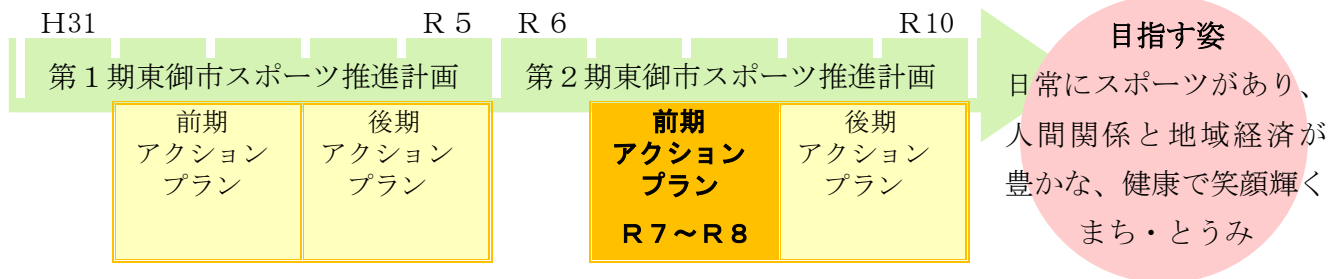
このため、施策の進捗状況や社会情勢の変化等に柔軟に対応するため、前期（令和7～8年度）、後期（令和9～10年度）からなる目標の達成のための具体的な行動計画となるアクションプランを定め、必要に応じて適宜見直しを行うものとします。

Ⅱ 前期アクションプランの策定について

1 前期アクションプラン策定の趣旨

推進計画に掲げた基本目標を実現していくためには、理念を踏まえつつ、その時々
の社会情勢等に的確に対応し、重点的に行うべき取組みや優先度の高い取組みについて、効果的かつ効率的に実施していくことが必要です。

このため、令和7年から令和8年の2か年を計画期間として策定した前期アクションプランの成果や課題を踏まえ、令和9年から令和10年を計画期間とした後期アクションプランを策定します。



2 前期アクションプランの期間

推進計画の前期アクションプランの計画期間は、令和7年度（2025年度）から令和8年度（2026年度）までの2年間とします。

3 前期アクションプランの推進方法

推進計画における基本目標を具体化するためには、子ども・子育て支援、健康づくり、高齢者・障がい者福祉や学校教育等々の分野の各種計画との整合性が極めて重要になります。

このため、行政内部における関連部局との連携を密にし、市民や関係団体が共通認識を持って総合的かつ計画的に取り組めます。

4 前期アクションプランの概要

前期アクションプランは、推進計画の実現に向け、前推進計画における取組成果や課題を踏まえて、計画期間において展開する取組内容や具体的な事業を取りまとめています。

◇実施主体が実施する個別の取組みについては、アクションプランの展開、アクションプランの取組み（事業）内容（個票）に示しています。

◇推進計画における取組み状況を把握しやすく、また、的確に進捗管理ができるよう、基本目標に紐づけて構成し着実な事業執行を目指します。

◇各年度のスポーツ行政の実行指針となり、前期アクションプランで示す具体的取組み（事業）（個票）の達成により推進計画の実現を図ります。

◇実施主体及び連携先が市民をはじめ、スポーツ関係団体、専門機関、企業等の幅広い主体と協働しながら取り組めます。

5 前期アクションプランの進捗管理

前期アクションプランの進捗状況の点検・評価については、成果、達成度、課題等について各担当課が連携し点検を行い、評価の中で取組み（事業）を分析し後期アクションプランへの反映につなげます。

また、客観性を確保するため、点検・評価原案に対しては、目標等の達成状況について「東御市スポーツ推進審議会」の意見を聴取して効果を検証し、必要に応じて内容の見直しを行い効果的かつ効率的に取組み（事業）を進めます。

6 SDGsの達成に向けた位置づけ

本計画は、スポーツ推進計画に掲げた基本目標に即した具体的な取組みを示したものです。よって、スポーツ推進計画に掲げる施策と特に関連するSDGsの目標を下表のとおり紐づけ、本計画の推進がSDGsの目標達成に資するものとして位置付けます。

基本目標	特に関連するSDGsの目標
【基本目標1】 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成	  
【基本目標2】 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実	 
【基本目標3】 スポーツによる地域経済の活性化	  
【基本目標4】 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上	 

	保健	【目標3】あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。 住民の健康維持は自治体の保健福祉行政の根幹です。国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことが住民の健康状態の維持・改善に必要であるという研究も報告されています。
	教育	【目標4】すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。 教育の中でも特に義務教育等の初等教育においては自治体が果たすべき役割は非常に大きいといえます。地域住民の知的レベルを引き上げるためにも、学校教育と社会教育の両面における自治体行政の取組は重要です。
	経済成長と雇用	【目標8】包摂的かつ持続可能な経済成長、及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。 自治体は経済成長戦略の策定を通して地域経済の活性化や雇用の創出に直接的に関与することができます。また、勤務環境の改善や社会サービスの制度整備を通して労働者の待遇を改善することも可能な立場にあります。
	インフラ、産業化、イノベーション	【目標9】強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、及びイノベーションの推進を図る。 自治体は地域のインフラ整備に対して極めて大きな役割を有しています。地域経済の活性化戦略の中に、地元企業の支援などを盛り込むことで新たな産業やイノベーションを創出することにも貢献することができます。
	実施手段	【目標17】持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。 自治体は公的／民間セクター、市民、NGO／NPOなどの多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進を担う中核的な存在になり得ます。持続可能な世界を構築していく上で多様な主体の協力関係を築くことは極めて重要です。

Ⅲ 第1期スポーツ推進計画の検証

1 アクションプランにおける戦略（柱）の評価と方向性

前推進計画における取組み（事業）は、スポーツ振興を加速させるため、新たな“地域スポーツ・プラットフォーム”の形成を目指し、3つの戦略を掲げ取り組んできました。

（1）後期アクションプラン3つの戦略（柱）の評価

戦略1は令和3年12月にスポーツ人財バンク制度が確立されたこと、戦略2は市民への生涯スポーツの機会提供やボッチャなどのユニバーサルスポーツの普及を図ったこと、戦略3は、交流イベント等を開催して順調に宿泊数を伸ばしたことなどから、一定の成果が得られたものと評価しています。

戦略1:スポーツを支える人づくり～スポーツ人財バンク制度の確立～ ⇒ 評価:A

スポーツ指導者を必要とする市民をはじめ、学校、職域、各種団体等の要請に対して、専門的な知識や経験、技術等を有している指導者を派遣することで、市内のスポーツ活動の普及促進と発展を目指します。また、指導者と依頼者のマッチングを行うだけでなく、指導を求める人のニーズに適切に応えることのできる指導者の養成・確保と資質の向上に取り組めます。

- ◇ 市民、学校、職域、各種団体の要請に応じてスポーツ指導者を派遣する仕組みの確立
- ◇ 中学校部活動の地域移行を踏まえた、スポーツ指導者の確保と育成

戦略2:裾野の拡大を目指したスポーツ推進委員の活躍 ⇒ 評価:B

行政、スポーツ団体と地域の架け橋となってスポーツ振興を支える地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担えるようスポーツ推進委員の機能強化を図ります。専門的な指導を目的とする人財バンクとは異なり、市民がスポーツを行うきっかけづくりの場を提供し、より地域に根ざした組織体制を目指します。

- ◇ 地域におけるスポーツ機会、生涯スポーツの機会提供、市民のスポーツニーズの把握と反映、多様な組織・団体との連絡調整の強化
- ◇ 総合型地域スポーツクラブ、地域づくりの組織との連携・協力体制の強化・充実
- ◇ スポーツ推進委員の周知
- ◇ スポーツ推進委員の活動しやすい環境づくり

戦略3:スポーツコミッションによる地域経済の活性化 ⇒ 評価:A

スポーツを活かした地域の収益性と知名度向上を目指すスポーツコミッション機能の充実により、スポーツの更なる広がりとし本市固有の価値の創造を図ります。

- ◇ 地域や経済の活性化を目指すアスター施策と市民のスポーツ参加機会を促進するインナー施策の両立
- ◇ 湯の丸高原スポーツ関連施設全体のコーディネート機能・統制機能の発揮
- ◇ 交流イベントを含む各種イベントの開催（宿泊数増加、競技力向上）

(2) 第1期アクションプランにおける実施主体の具体的な取組み（事業）の評価

基本目標	基本施策と取組名	評価
基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成	1-1 運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり	
	子どもの育ちを支える人材育成事業	S
	運動遊び、信州型自然保育支援事業	A
	1-2 小学期のスポーツへの円滑な接続	
	体力・運動能力等調査への専門的支援	A
	放課後子ども教室事業の実施	A
	1-3 中学生期のスポーツニーズへの対応	
	運動部活動への支援体制づくり	B
	「ゆるスポーツクラブ」の実施	S
基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実	2-1 スポーツ機会のきっかけとなる機会（イベント）の充実	
	チャレンジデーへの継続参加	A
	2-2 青壮年期のスポーツ活動の促進	
	親子参加型スポーツ教室・働き盛り世代対象の教室の実施	B
	2-4 地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実	
	スポーツ推進委員組織の充実	B
	総合型地域スポーツクラブ Sany TOMI の運営	B
	スポーツ人財バンクの運用	C
	2-5 スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり	
基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化	3-1 スポーツツーリズムの推進	
	「地域スポーツコミッション」の運営支援	A
	スポーツツーリズムイベントの開催	A
	3-2 スポーツを活かした地域の活性化	
	長野県国民スポーツ大会に向けた高地トレーニングセミナーの開催	B
	大学等との包括連携協定による地域スポーツ環境の充実	A
基本目標4 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上	4-1 スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続	
	トップアスリートとの交流イベント開催	C
	4-2 高みを目指す人々への支援	
	子どもたちの競技力向上	S

評価方法 S:目標以上に実施 A:目標どおりに実施 (80~100%)

B:目標以下の効果で実施 (50~79%) C:大部分目標未達成 (0~49%)

2 後期アクションプランにおける各取組み（事業）の評価と方向性

（１）後期アクションプランの評価

前推進計画における後期アクションプラン 20 事業について、各担当課により成果、達成度を評価分析した結果、「S：目標以上に実施、目標以上の効果を上げて実施」4 事業「A：目標どおりに実施」9 事業、「B：一部目標未達成、目標以下の効果で実施」5 事業、「C：大部分目標未達成」2 事業、「－：やむを得ず中止」0 事業と評価結果をまとめています。

後期アクションプランの評価結果

区分	評価結果	取組み（事業）数	割合
S	目標以上に実施、目標以上の効果を上げて実施	4	20%
A	目標どおりに実施	9	45%
B	一部目標未達成、目標以下の効果で実施	5	25%
C	大部分目標未達成	2	10%
－	やむを得ず中止	0	0%
計		20	100%

評価区分「S」「A」「B」が全体の 90.0%を占めることから、総じて後期アクションプランは各種事業の展開により成果が得られていると評価することができます。

このうち「C」評価の“スポーツ人財バンクの運用”については、中学校部活動の地域移行を視野に入れながら令和3年度に要綱を制定しましたが、国や県からの指針がなかなか示されずに手探りで行っている状況もあったため、積極的な情報提供もできなかったことから指導者の登録者数があまり伸びなかったことが原因となります。しかしながら、将来を見据えた規則の整備や補助事業の制定が出来たことにより、今後は地域の実情にあった環境づくり・体制づくりを推進していくことができると考えます。また、“トップアスリートとの交流イベント開催”に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、令和5年度に感染症の位置付けが5類に移行したことでようやくイベントを本格的に実施できるようになりました。引き続き、子どもたちがトップレベルの選手・指導者を身近に見て触れる機会を設け、本市の選手、指導者のレベルアップを図り、スポーツ環境の質の向上を図ってまいります。

（２）基本目標の達成に向けたアクションプランの方向性

市民のライフスタイルの多様化により、スポーツに対するニーズも多様化するとともに、期待も高まりをみせています。今回の推進計画では、前推進計画より特色を活かした東御市らしい施策とするため施策を集約化しておりますので、優先事項や戦略（柱）は設けず個別で取組み、年齢や性別、障がいの有無等を問わず誰もがスポーツを楽しむことができるように安定した事業の継続に向けて邁進してまいります。

3 取組み（事業）の展開

「目指す姿」を見据えた後半5年間の計画として、推進計画に推進計画に規定する基本目標及び個別施策に紐づけたものとして、新規、強化及び継続すべき取組み（事業）をそれぞれ掲げます。

なお、それぞれの実施主体が行う具体的な取組み（事業）は、13頁以降に記載しています。

基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

基本施策	個別施策	取組（事業）名
1-1 運動遊びによる就学までの スポーツの土台づくり	① 運動遊び・自然体験活動等による保育・幼児教育の充実	運動能力測定を活用し、遊びを通じた幼児期の怪我のない身体づくり
1-2 小学生期のスポーツへの円滑な接続	① 学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援	体力・運動能力等調査への専門的支援 ----- 放課後子ども教室事業の安定的な実施
1-3 中学生期のスポーツニーズへの対応	① 望ましい運動部活動のための支援体制づくり	運動部活動への支援体制づくり
	② 中学でのスポーツ離れを防ぐための「ゆる部活・ゆるスポーツ」等の定着	「ゆるスポーツクラブ」の継続実施

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

基本施策	個別施策	取組（事業）名
2-1 青壮年期のスポーツ活動の促進	① 働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進	働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進
	② 積極的な情報発信	市内スポーツ関係団体の連携及び情報提供
2-2 スポーツ施設等（ハード）の整備と活用	① いつでも、どこでも、だれでも楽しめる場の提供	遊休施設、低利用施設の有効活用

2-3 地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実	① スポーツ推進委員活動の強化	スポーツ推進活動の促進
	② スポーツ協会活動充実への支援	スポーツ推進活動の促進
	③ 総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブ SanyTOMI の安定的な運営
2-4 スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり	① 身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実	フレイル予防の取組
	② 障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツを活用した交流事業	ボッチャに関する活動及び人材育成

基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化

基本施策	個別施策	取組（事業）名
3-1 スポーツツーリズムの推進	① 地域スポーツコミッションの支援	地域スポーツコミッションの運営支援
	② 湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入	スポーツツーリズムイベントの開催
3-2 スポーツを活かした地域の活性化	① 産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積	知見蓄積のためのデータ集積・分類・分析
	② 専門機関等とのサポート連携協定の推進	大学等との包括連携協定による地域スポーツ環境の充実

基本目標4 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

基本施策	個別施策	取組（事業）名
4-1 スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続	① トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供	トップアスリートとの交流イベント開催
4-2 高みを目指す人々への支援	① 競技レベルに応じた練習環境の充実	子どもたちの競技力向上

IV 実施主体による具体的取組み（事業）

1 取組み（事業）の構成

推進計画は、4つの基本目標に11の施策方針、更には、18の個別施策で構成されています。個別施策は、目標を達成するための取組み（事業）の方向性であり、方向性に沿った具体的な取組み（事業）を効果的かつ効率的に執行するために、前期アクションプランでは、前推進計画の課題を踏まえ、令和7年から令和8年の2年間で各実施主体が実施する19の具体的な取組み（事業）を示し、それぞれの個票にまとめています。

なお、個票は、推進計画における基本目標及び基本施策に準じて構成しています。

【個票の見方】

取組名・個別施策に基づき事業実施主体の担当部署の取組み名称	NO.	基本施策：推進計画で規定した名称		個別施策：基本施策に基づいた施策の具体的な方向性で推進計画に規定					
		実施主体	連携先	実施主体：取組み（事業）を主体的に実施する部署					
取組の概要：施策の課題等に対応する当該取組の目的・狙い、事業の内容	基本施策								
	個別施策								
対象者：市が取組の実施にあたり直接働きかける人やもの	取組名	連携先：取組み（事業）実施にあたり連携して行う部署ならびに関係機関							
	〈目的・狙い〉								
事業目標：アクションプラン計画期間内に達成すべき状態や目標値	取組の概要	〈取り組み内容〉							
	対象者								
数値目標：事業目標の達成に向け、目標を数値化したもの	事業目標	指標							
		目標値：後期アクションプラン最終年度の事業の目標値							
基準値：スポーツ推進計画が策定された令和元年度の事業の状況（数値）	数値目標	基準値（R1）	目標値（A）	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
				計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1							
	成果指標	1							
		2							
		2							
	予算額	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

進捗管理指標：後期アクションプランの期間内の各年度の取組指標
・活動指標 ・成果指標

2 取組み（事業）の内容（個票）

基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.				基本目標		基本施策		個別施策		実施主体	保育課	
				1		1-1		①		連携先	身体教育医学研究所	
基本施策				運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり								
個別施策				運動遊び・自然体験活動等による保育・幼児教育の充実								
取組名				運動能力測定を活用し、遊びを通じた幼児期の怪我のない身体づくり								
取組の概要				〈目的・狙い〉 健康的な生活習慣を子どもたちに定着させるため、体を動かして遊ぶことの楽しさを「運動遊び」により、また、地域資源を活用した屋外活動や地域との交流活動を「信州型自然保育」により推進します。								
				〈取り組み内容〉 身体教育医学研究所による保育園での園児の体力運動能力の測定、分析を行い、子どもの筋力が少ない部分を特定し、結果をフィードバックする。								
対象者				園児								
事業目標				指標								
				検証の積み重ね、長期的かつ継続的な実施								
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	
進捗管理指標	活動指標	1	結果分析・共有	1	1	1		1		1		
		2	結果のフィードバック	1	1	1		1		1		
	成果指標	1										
		2										
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	教育課						
	1	1-2	①	連携先	身体教育医学研究所						
基本施策		小学生期のスポーツへの円滑な接続									
個別施策		学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援									
取組名		体力・運動能力等調査への専門的支援									
取組の概要		〈目的・狙い〉 国が実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、本市の児童生徒の体力・運動能力の状況を正確に把握し、施策の成果と課題を的確に捉えることからその改善を図るとともに、子どもたちの体力の向上に向けた継続的な検証改善サイクルを確立します。 〈取り組み内容〉 毎年度、児童(小学5年生)及び生徒(中学2年生)を調査対象として実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、身体教育医学研究所、スポーツ推進委員による連携を図り、各種調査の正確な実施を徹底し、適正な調査結果が得られるよう努める。									
対象者		小中学校教員 児童生徒									
事業目標		指標									
		調査結果をもとにした運動能力の課題を克服 体力テストの平均点の向上									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	調査回数	1	1	1		—		—	
		2									
	成果指標	1	小5年生の 体力テスト 合計点平均	男子 52.33 女子 54.47	男子 52.33 女子 54.47	—		—		—	
		2	中2年生の 体力テスト 合計点平均	男子 42.56 女子 47.00	男子 42.56 女子 47.00	—		—		—	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	教育課						
	1	1-2	②	連携先	総合型地域スポーツクラブ スポーツ推進委員						
基本施策		小学生期のスポーツへの円滑な接続									
個別施策		学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援									
取組名		放課後子ども教室事業の安定的な実施									
取組の概要		〈目的・狙い〉 「げんき塾」を活用して小学生期に身近な場所でスポーツに親しむ元気な子供の育成と児童の放課後を安心安全に過ごせる環境整備を兼ね、放課後に地域住民の参画を得て学校施設等を活用した様々な体験・交流活動プログラムを提供することでスポーツによる達成感を知り、スポーツの習慣化、競技スポーツへの接続及び生涯スポーツへのきっかけの場とします。 〈取り組み内容〉 放課後子ども教室「げんき塾」の開催									
対象者		登録児童(小学1～6年生)									
事業目標		指標									
		事業の継続実施及び参加者数増加による定着									
数値目標		基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度			
				計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)		
進捗管理指標	活動指標	1	教室実施回数	20	20	—		—		—	
		2									
	成果指標	1	参加者(1回当たりの平均参加者数)	25.7	26	—		—		—	
		2									
予算額		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標		基本施策		個別施策		実施主体	文化・スポーツ振興課 教育課			
	1		1－3		①		連携先	スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ			
基本施策			中学生期のスポーツニーズへの対応								
個別施策			望ましい運動部活動のための支援体制づくり								
取組名			運動部活動への支援体制づくり								
取組の概要			〈目的・狙い〉 活動を地域に移行するための対応が迅速に行えるよう、学校や、教育委員会、地域、企業、市、関係団体等が一体となった協力体制を整え、各学校・各運動部活動や地域の実情にあった環境づくり・体制づくりを推進します。								
			〈取り組み内容〉 部活動の地域移行に向けた会議を開催し、支援体制の構築に向けた検討を行います。								
対象者			市内生徒								
事業目標			指標								
			支援体制の構築と持続可能な運営を行うための課題の抽出								
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	会議開催数	2	3	—		—		—	
		2									
	成果指標	1									
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	教育課						
	1	1－3	②	連携先	総合型地域スポーツクラブ スポーツ推進委員						
基本施策				中学生期のスポーツニーズへの対応							
個別施策				中学でのスポーツ離れを防ぐための「ゆる部活・ゆるスポーツ」等の定着							
取組名				「ゆるスポーツクラブ」の継続実施							
取組の概要				〈目的・狙い〉 運動部活動に加入しない生徒を対象に、楽しめる運動やニュースポーツを体験できる場を提供し、継続して運動を続けようとする意欲につなげることを目的に、自分のペースで運動・スポーツを実施したい、運動離れしている生徒を対象に「ゆるスポーツクラブ」を実施します。 〈取り組み内容〉 総合型地域スポーツクラブの指導者が実施主体となり、スポーツ推進委員と連携しながら「ゆるスポーツクラブ」を通年開催する。							
対象者				市内生徒							
事業目標				指標							
				活動の通年開催 生徒の参加による事業の定着							
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	実施回数	9	10	－		－		－	
		2									
	成果指標	1	参加者(1回当たりの平均参加者数)	3.1	3.1	－		－		－	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.				基本目標		基本施策		個別施策		実施主体		文化・スポーツ振興課	
				2		2-1		①		連携先		総合型地域スポーツクラブ	
基本施策				青壮年期のスポーツ活動の促進									
個別施策				働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進									
取組名				働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進									
取組の概要				〈目的・狙い〉 働き盛り世代が日常的にスポーツに取り組めるよう、スポーツの必要性や効果的な運動を紹介する等、スポーツ活動に親しみ楽しめる環境づくりを支援します。									
				〈取り組み内容〉 企業や地域が行う健康事業やスポーツ事業と連携し、スタッフ派遣等を行う。									
対象者				市民、市内在勤者									
事業目標				指標									
				企業や地域への派遣によるスポーツの普及									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度			
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)		
進捗管理指標	活動指標	1	スポーツの普及活動回数	1	1	1		1		1			
		2											
	成果指標	1											
		2											
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課						
	2	2-1	②	連携先	スポーツ協会、身体教育医学研究所 総合型地域スポーツクラブ						
基本施策		青壮年期のスポーツ活動の促進									
個別施策		積極的な情報発信									
取組名		市内スポーツ関係団体の連携及び情報提供									
取組の概要		〈目的・狙い〉 スポーツ関係団体同士の連携を強化し、スポーツに興味を持った人が求める情報にたどり着けるよう提供する。									
		〈取り組み内容〉 市報、ホームページ、SNS等を有効的に活用し、情報発信の充実を図る。									
対象者		市民									
事業目標		指標									
		動画の配信や市内スポーツ関係団体の連携による積極的な情報提供									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	連携会議数	24	10	10		10		10	
		2									
	成果指標	1	情報提供回数	2	2	2		2		2	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課						
	2	2-2	①	連携先	スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ						
基本施策		スポーツ施設等(ハード)の整備と活用									
個別施策		いつでも、どこでも、だれでも楽しめる場の提供									
取組名		遊休施設、低利用施設の有効活用									
取組の概要		〈目的・狙い〉 多様化するニーズに沿い、遊休施設や低利用施設などの既存の施設を有効活用して、誰もが気軽に楽しめるスポーツ環境を整備します。 〈取り組み内容〉 遊休施設や低利用施設の活用を検討 スポーツの需要等の研究									
対象者		市民									
事業目標		指標									
		スポーツニーズや活用についての調査・研究									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	調査・研究	1	1	1		1		1	
		2									
	成果指標	1									
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課				
	2	2－3	①	連携先	スポーツ推進委員				
基本施策		地域スポーツ活動組織・人材等(ソフト)の充実							
個別施策		スポーツ推進委員活動の強化							
取組名		スポーツ推進活動の促進							
取組の概要		〈目的・狙い〉 スポーツ推進委員は、スポーツの推進に関する情報発信や市民へのスポーツの実技の指導や助言を行うとともに、市民や行政、スポーツ関係団体との連携や多様な組織・団体と幅広いネットワークを築き、地域のスポーツコーディネーターとしてスポーツ活動の幅を広げる活動を行います。 〈取り組み内容〉 ・各種研修会へスポーツ推進委員を派遣し、専門的な知識や技術の習得を図る。 ・地域スポーツを支える組織基盤としてより一層の組織強化を図る。 ・地域スポーツ振興の推進役、行政と市民とのつなぎ役として、独自の企画、運営によるイベントやスポーツ推進に取り組む。							
対象者		市民							
事業目標		指標							
		市民に対し、スポーツに触れ合うきっかけづくりの場を提供する。							
数値目標		基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
				計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	イベント開催数	3	3	3		3	
		2	講習会実施回数	6	6	6		6	
	成果指標	1	イベント参加人数	700	1000	800		900	1000
		2	講習会参加人数	60	90	70		80	90
予算額		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.				基本目標		基本施策		個別施策		実施主体	文化・スポーツ振興課	
				2		2－3		②		連携先	スポーツ協会	
基本施策				地域スポーツ活動組織・人材等(ソフト)の充実								
個別施策				スポーツ協会活動充実への支援								
取組名				スポーツ推進活動の促進								
取組の概要				〈目的・狙い〉 特定非営利活動法人東御市スポーツ協会と連携して、市民の主体的なスポーツ活動を促進します。また、スポーツ協会へは、目的を明確にした事業委託と適正な財政的支援を行うことで、加盟団体の普及活動や指導者の育成、競技力の向上等の取組みを促進します。								
				〈取り組み内容〉 スポーツ教室や各種のスポーツの関係団体の活動に関して積極的な周知を行い、市民がスポーツを気軽に始められるような環境を作る。								
対象者				市民								
事業目標				指標								
				スポーツ競技者数の増加								
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	
進捗管理指標	活動指標	1	スポーツ教室参加人数	658	680	640		660		680		
		2	スポーツ教室の実施回数	467	467	467		467		467		
	成果指標	1										
		2										
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課					
	2	2－3	③	連携先	総合型地域スポーツクラブ					
基本施策		地域スポーツ活動組織・人材等(ソフト)の充実								
個別施策		総合型地域スポーツクラブの支援								
取組名		総合型地域スポーツクラブSanyTOMIの安定的な運営								
取組の概要		〈目的・狙い〉 “子どもたちの健全な育ちを応援する”を基本姿勢に、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」地域のみんなが気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができるスポーツ活動により、誰もが健康でいきいきと暮らせる活力と魅力あるまちづくりに寄与することを目指します。 〈取り組み内容〉 総合型地域スポーツクラブSanyTOMIの会員を増やし地域住民のスポーツ関係人口増を目指すため、多くの方が興味を持てるプログラム展開を行い安定した運営に努める。								
対象者		市民								
事業目標		指標								
		会員制プログラム開催回数及び会員数								
数値目標		基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
				計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	
進捗管理指標	活動指標	1	会員制プログラム開催回数	4	5	5		5		5
		2								
	成果指標	1	会員数	79	150	120		130		150
		2								
予算額		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	福祉課						
	2	2-4	①	連携先							
基本施策		スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり									
個別施策		身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実									
取組名		フレイル予防のための取り組み									
取組の概要		〈目的・狙い〉 高齢者のフレイル(虚弱)予防対策を取り入れ、地域とのつながりの中で、健康でいきいきと、その人らしく自立して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指す。									
		〈取り組み内容〉 筋トレ教室の充実や啓発活動など、フレイル予防対策教室実施の支援をする。									
対象者		概ね65歳以上の市民									
事業目標		指標									
		フレイル予防教室開催数									
数値目標		基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度			
				計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)		
進捗管理指標	活動指標	1	フレイル予防教室開催数	55	62	58		60		62	
		2									
	成果指標	1									
		2									
予算額		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取り組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。

よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課						
	2	2-4	②	連携先	みんなの健康×スポーツ実行委員会						
基本施策		スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり									
個別施策		障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツを活用した交流事業									
取組名		公民館でのボッチャ活動、ボッチャルールの浸透									
取組の概要		〈目的・狙い〉 障がいのある方もない方も共にスポーツを「する」機会を提供し、参加者の皆が達成感や一体感を得て、誰もが身近に運動・スポーツに親しめるようにすることで、ユニバーサルな地域の実現の一助となるよう取組めます。 〈取り組み内容〉 ・地区公民館等における審判講習会等の開催による人材育成 ・リーグ戦の開催									
対象者		市民									
事業目標		指標									
		審判講習会等実施回数・人数									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	審判講習会等実施回数	2	11	7		8		11	
		2									
	成果指標	1	参加者数	159	628	357		583		628	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化

本市の強みである湯の丸高原高地トレーニング施設を起爆剤として、官民が一体となり、スポーツ合宿の誘致、観光と連動したスポーツツーリズムを推進することで、知名度の向上や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

NO.				基本目標		基本施策		個別施策		実施主体		文化・スポーツ振興課	
				3		3-1		①		連携先			
基本施策				スポーツツーリズムの推進									
個別施策				地域スポーツコミッションの支援									
取組名				「地域スポーツコミッション」の運営支援									
取組の概要				〈目的・狙い〉 地域の活性化のため、スポーツ団体、企業（スポーツ産業、観光産業）、市等が一体となり、スポーツを観光資源とした新たなイベントの開催、スポーツ合宿誘致等のスポーツツーリズムに取組むため、そのマネジメント機能を果たす（一社）とうみ湯の丸高原スポーツコミッションの活動を支援します。 〈取り組み内容〉 1 湯の丸高原全体の内部統制機能の構築 ①合宿・施設利用の受付／問合せ一歩化、②各施設（宿泊、食事、施設）に関する意見収集、評価／分析、③スポーツ合宿の全体統制やPR活動等に関わる予算管理 2 組織の経営的自立（来訪者の増加／維持） ①高い専門性とマーケティング力を持つ人材の確保、②プロモーション活動、③スポーツを核とした幅広い事業（イベント等）の企画／運営、④組織の収益源の確保									
対象者				合宿・イベント等の来訪者									
事業目標				指標									
				①湯の丸高原入込客数（単位：百人） ②スポーツ合宿延べ宿泊数（単位：泊）									
数値目標				基準値 （R5）	目標値 （A）	令和7年度		令和8年度		令和9年度			
						計画値	実績値 （B）	計画値	実績値 （B）	計画値	実績値 （B）		
進捗管理指標	活動指標	1											
		2											
	成果指標	1	湯の丸高原入込客数	5,916	6,153	6,035		6,094		6,153			
		2	スポーツ合宿延べ宿泊数	13,175	16,000	14,000		15,000		16,000			
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化

本市の強みである湯の丸高原高地トレーニング施設を起爆剤として、官民が一体となり、スポーツ合宿の誘致、観光と連動したスポーツツーリズムを推進することで、知名度の向上や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

NO.				基本目標		基本施策		個別施策		実施主体		文化・スポーツ振興課	
				3		3-1		②		連携先			
基本施策				スポーツツーリズムの推進									
個別施策				湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入									
取組名				スポーツツーリズムイベントの開催									
取組の概要				〈目的・狙い〉 スポーツコミッションを中心に、高地トレーニングの適地である標高1,750mに位置する湯の丸高原スポーツ交流施設へのスポーツ合宿誘致を積極的に行います。特に、陸上中長距離、水泳の施設を活かして実業団・大学等のトップレベルのチーム・選手を中心に合宿の誘致を積極的に進めます。また、スポーツイベントの開催等魅力的なスポーツツーリズムを主導し、交流人口の拡大、知名度向上、集客増加等、地域経済活性化の好循環を拡充します。									
				〈取り組み内容〉 メディアを活用した積極的なプロモーション活動や首都圏からの誘客による陸上、水泳のスポーツツーリズムイベントの開催 スポーツコミッションにおける、湯の丸スポーツ交流施設一帯の施設運営、プロモーションによるスポーツツーリズムイベント開催、合宿受入等の一元的なマネジメント									
対象者				陸上長距離・水泳のアスリート、高地トレーニング導入を目指す指導者、市内外参加者（愛好者）									
事業目標				指標									
				スポーツツーリズムイベント開催回数(単位:回)									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度			
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)		
進捗管理指標	活動指標	1	イベント開催数	2	3	3		3		3			
		2											
	成果指標	1	参加者数	122	150	130		140		150			
		2											
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化

本市の強みである湯の丸高原高地トレーニング施設を起爆剤として、官民が一体となり、スポーツ合宿の誘致、観光と連動したスポーツツーリズムを推進することで、知名度の向上や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

NO.				基本目標		基本施策		個別施策		実施主体		文化・スポーツ振興課	
				3		3-2		①		連携先			
基本施策				スポーツを活かした地域の活性化									
個別施策				産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積									
取組名				知見蓄積のためのデータ集積・分類・分析									
取組の概要				〈目的・狙い〉 湯の丸高原の高地トレーニングのポテンシャルを最大限に活かすため、専門機関と連携して検証、分析を行います。									
				〈取り組み内容〉 トレーニングの効果や経済波及の効果等の検証を行う。									
対象者				利用者									
事業目標				指標									
				データ集積人数									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度			
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)		
進捗管理指標	活動指標	1	データ集積 人数	—	100	50		80		100			
		2											
	成果指標	1											
		2											
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化

本市の強みである湯の丸高原高地トレーニング施設を起爆剤として、官民が一体となり、スポーツ合宿の誘致、観光と連動したスポーツツーリズムを推進することで、知名度の向上や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

NO.				基本目標		基本施策		個別施策		実施主体		文化・スポーツ振興課	
				3		3-2		②		連携先			
基本施策				スポーツを活かした地域の活性化									
個別施策				専門機関等とのサポート連携協定の推進									
取組名				大学等との包括連携協定による地域スポーツ環境の充実									
取組の概要				〈目的・狙い〉 企業、大学等が湯の丸高原を実習・研究施設として活用し、その際、市の関係団体等が活動に参画して人材の育成を図る等、企業や専門機関等との連携協定の締結に取り組み、継続的な協力関係を強化します。 〈取り組み内容〉 ・スポーツにおける地域資源の発掘等に関する調査・共同研究 ・高地トレーニングの聖地「湯の丸高原」のブランド化へ向けた提言 ・合宿の食事管理への監修、検食等による栄養分野でのサポート									
対象者				市民、利用者									
事業目標				指標									
				タイアップ事業数									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度			
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)		
進捗管理指標	活動指標	1											
		2											
	成果指標	1	タイアップ 事業数	3	5	5		5		5			
		2											
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

基本目標4 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

地元の選手が大きな舞台で活躍する姿は、観るものに感動と勇気を与えるばかりでなく、地域に元気とスポーツへの興味を生み出します。

将来、国内トップレベルとなる選手を本市から輩出するため、指導者の育成、学校部活動の体制整備を進め、競技スポーツ人口の拡大と競技力の向上に向けて取組めます。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課						
	4	4-1	①	連携先							
基本施策		スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続									
個別施策		トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供									
取組名		トップアスリートとの交流イベント開催									
取組の概要		〈目的・狙い〉 高地トレーニング施設整備により湯の丸高原スポーツ交流施設での合宿者をきっかけとして、国内トップレベルのアスリート及び指導者を招聘し、交流の機会を設け、アスリート及び指導者の競技力向上に向けた取組み姿勢、練習方法、指導方法等に直接触れることでのレベル向上を図ります。 〈取り組み内容〉 ・練習見学 ・指導者及び選手との触れ合いイベントの開催									
対象者		競技者、指導者(保護者含む)									
事業目標		指標									
		トップアスリートとの交流イベントの開催回数(単位:回)									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	交流イベントの開催回数	2	2	2		2		2	
		2									
	成果指標	1	参加者数	136	200	170		180		200	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標4 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

地元の選手が大きな舞台で活躍する姿は、観るものに感動と勇気を与えるばかりでなく、地域に元気とスポーツへの興味を生み出します。

将来、国内トップレベルとなる選手を本市から輩出するため、指導者の育成、学校部活動の体制整備を進め、競技スポーツ人口の拡大と競技力の向上に向けて取組めます。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課						
	4	4-2	①	連携先	総合型地域スポーツクラブ						
基本施策		高みを目指す人々への支援									
個別施策		競技レベルに応じた練習環境の充実									
取組名		子どもたちの競技力向上									
取組の概要		〈目的・狙い〉 市内学校では屋外プールしか保有しておらず、練習時期が限定的となってしまうことから、湯の丸にある屋内プールを有効活用し子どもたちの競技力向上を目指します。 また、活用するにあたって地域の中から指導者を発掘することで地域において育てられる環境を整備します。 〈取り組み内容〉 ・中高生が湯の丸にある屋内プールを定期的に利用できる環境の構築									
対象者		競技者、指導者(保護者含む)									
事業目標		指標									
		スポーツ体験会の開催									
数値目標				基準値 (R5)	目標値 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
						計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)	計画値	実績値 (B)
進捗管理指標	活動指標	1	体験会の実施回数	30	30	30		30		30	
		2									
	成果指標	1									
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

V 前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

基本目標	基本施策	個別施策	取組名	取組の概要	基準値	令和〇年度中間	令和〇年度実績	令和〇年度評価	評価説明	評価に対する意見・要望等

評価方法

「S」…目標以上に実施、目標以上の効果を上げた実施 「A」…目標どおりに実施 「B」…一部目標未達成、目標以下の効果で実施 「C」…大部分目標未達成 「一」…やむを得ず中止

※この様式は、次年度以降、必要に応じて内容を変更する場合があります。

東御市 企画振興部 文化・スポーツ振興課 スポーツ係

TEL : 0268-75-1455 FAX : 0268-63-5431

Email:sports@city.tomi.nagano.jp